

学校運動部活動に関する調査・顧問用

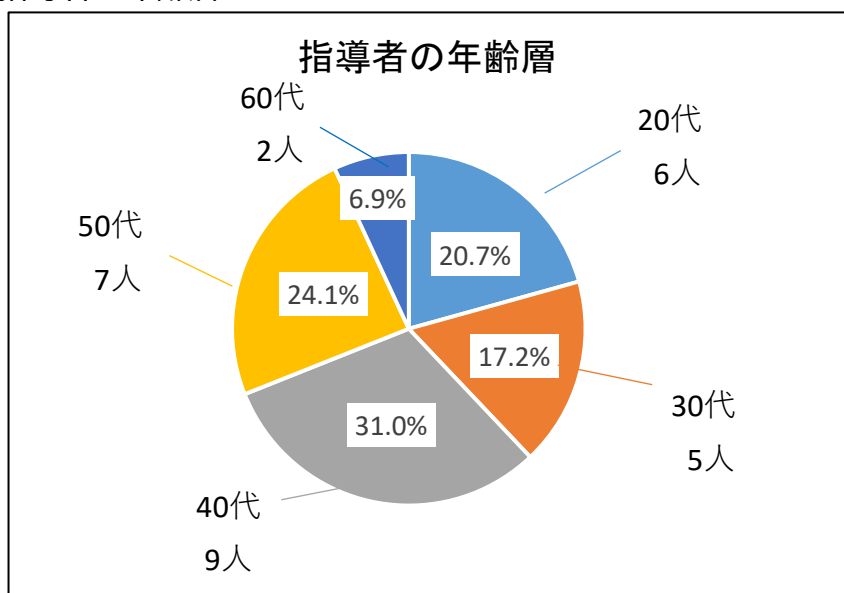
回答率

留萌中学校 運動部顧問20名 / 回答者数17名 = 85%

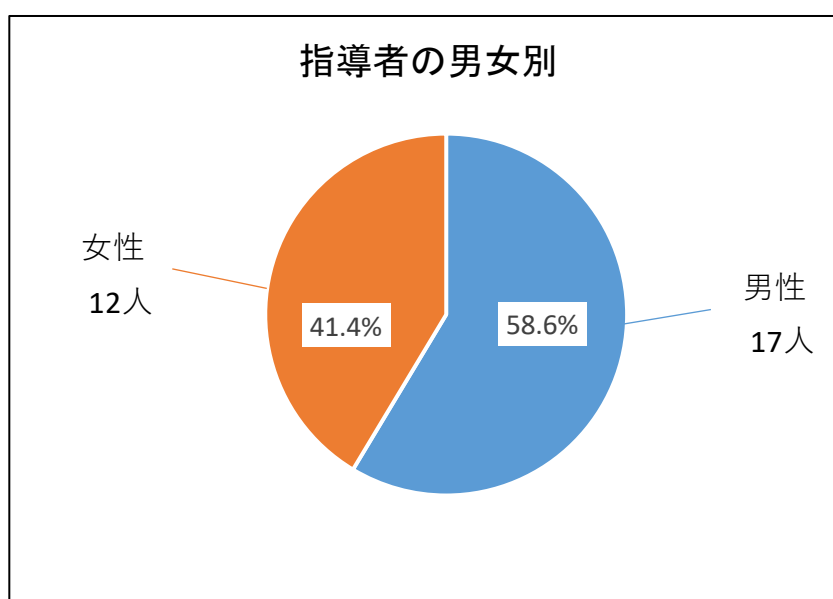
港南中学校 運動部顧問13名 / 回答者数12名 = 92%

全体回答率 運動部顧問33名 / 回答者数29名 = 88%

指導者の年齢層



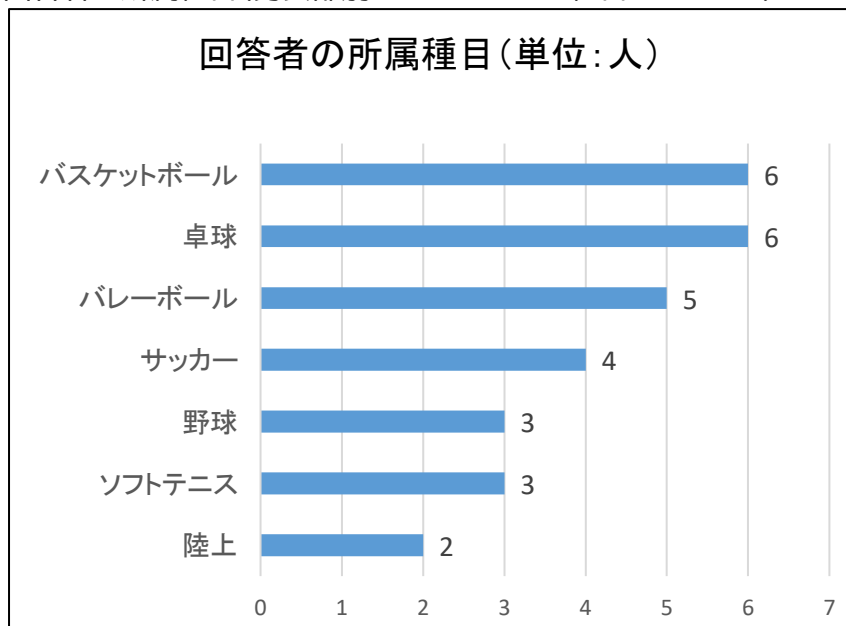
指導者の男女別



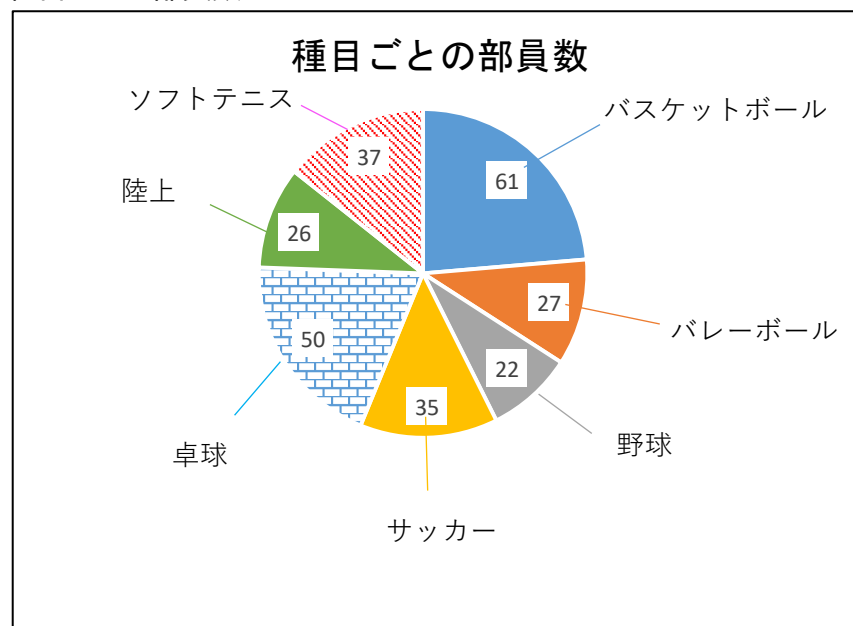
指導種目

留萌中	男子バスケットボール、女子バスケットボール、女子バレーボール、男子卓球、女子卓球、サッカー、野球、陸上、ソフトテニス
港南中	男子バスケットボール、女子バレーボール、男女卓球、サッカー（混合）、野球

回答者の所属種目(男女部別ではなく一つの種目でカウント)



種目ごとの部員数

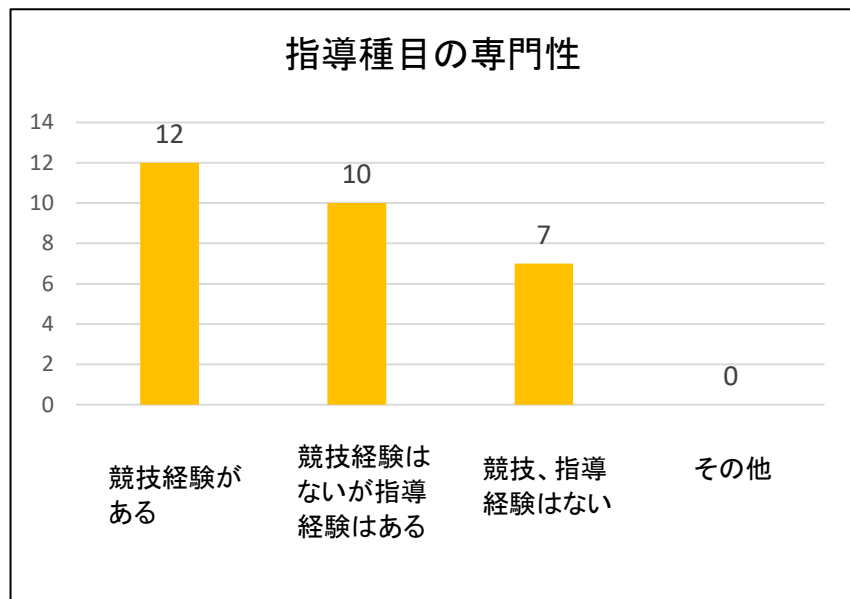


部活動の時間帯について

※学校及び種目により違うことや体育館の使用割当などがあり、回答ではおおよそ次に分類される。

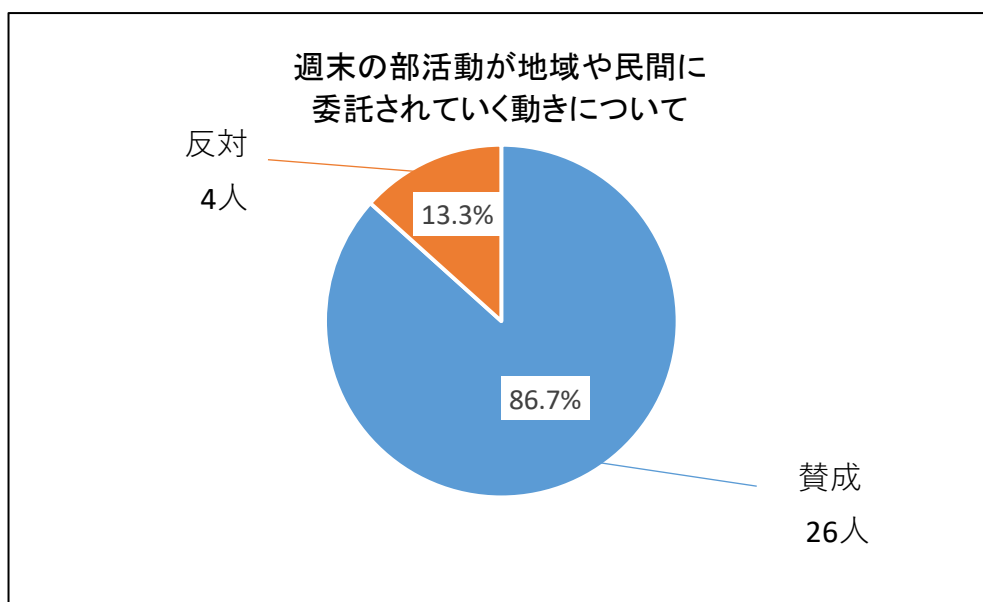
平日：夏 16:00～18:30 (2.5h) 16:00～18:00 (2.0h) 16:00～17:30 (1.5h)
 土、日、祝日：8:00～16:00の間で2～4時間程度
 夏休み・冬休み期間：8:00～16:00の間で2～4時間程度

Q1 指導種目の専門性

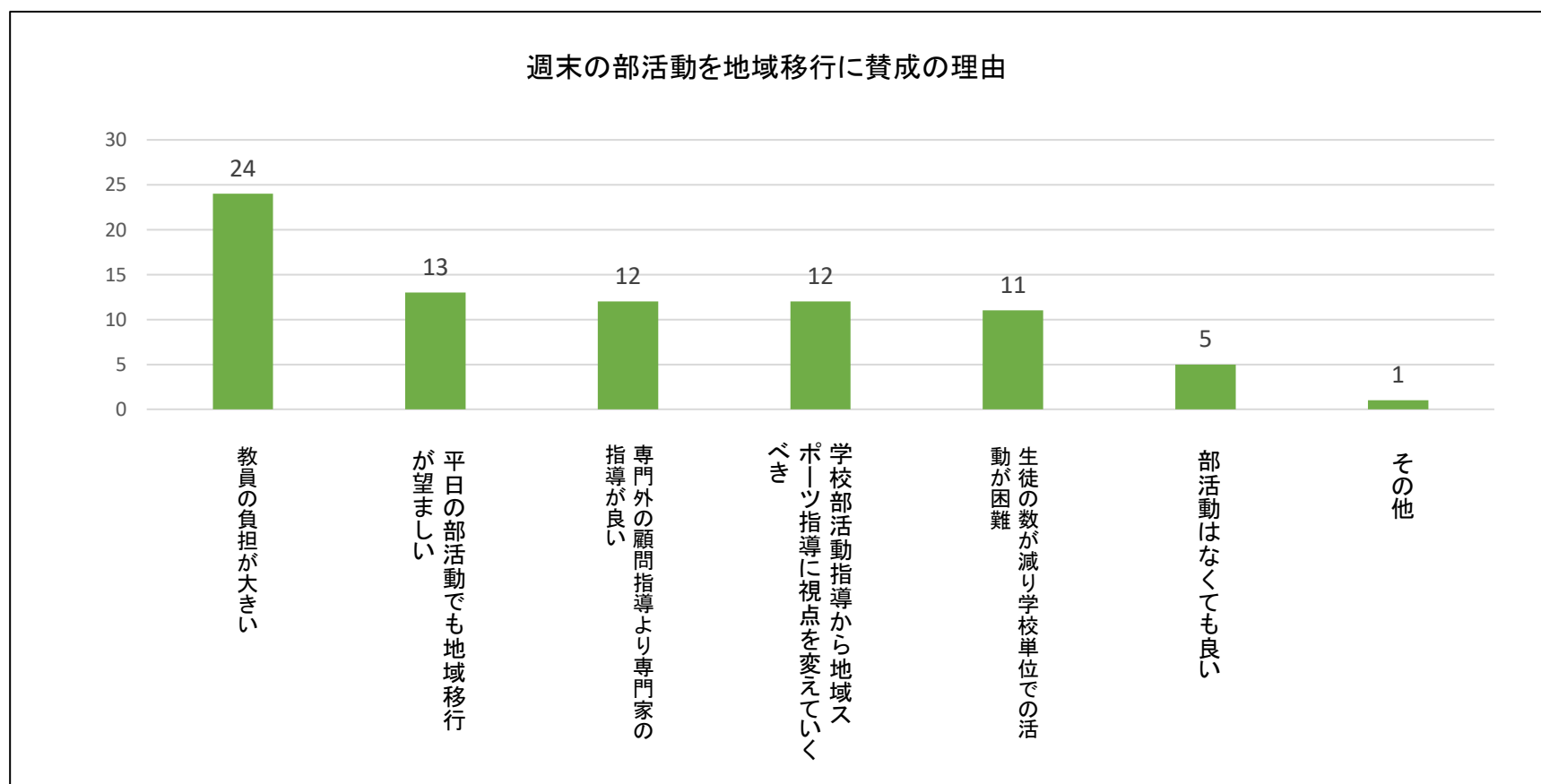


- ・ 競技経験がある（年数）
 2年：1人、3年：2人、8年：1人、9年：1人
 10年：1人、13年：1人、40年：1人
- ・ 競技経験は無いが指導経験はある（年数）
 2年：3人、3年：2人、5年：1人、6年：2人
 9年：1人、12年：1人、20年：1人

Q2 運動部活動と地域との協働融合

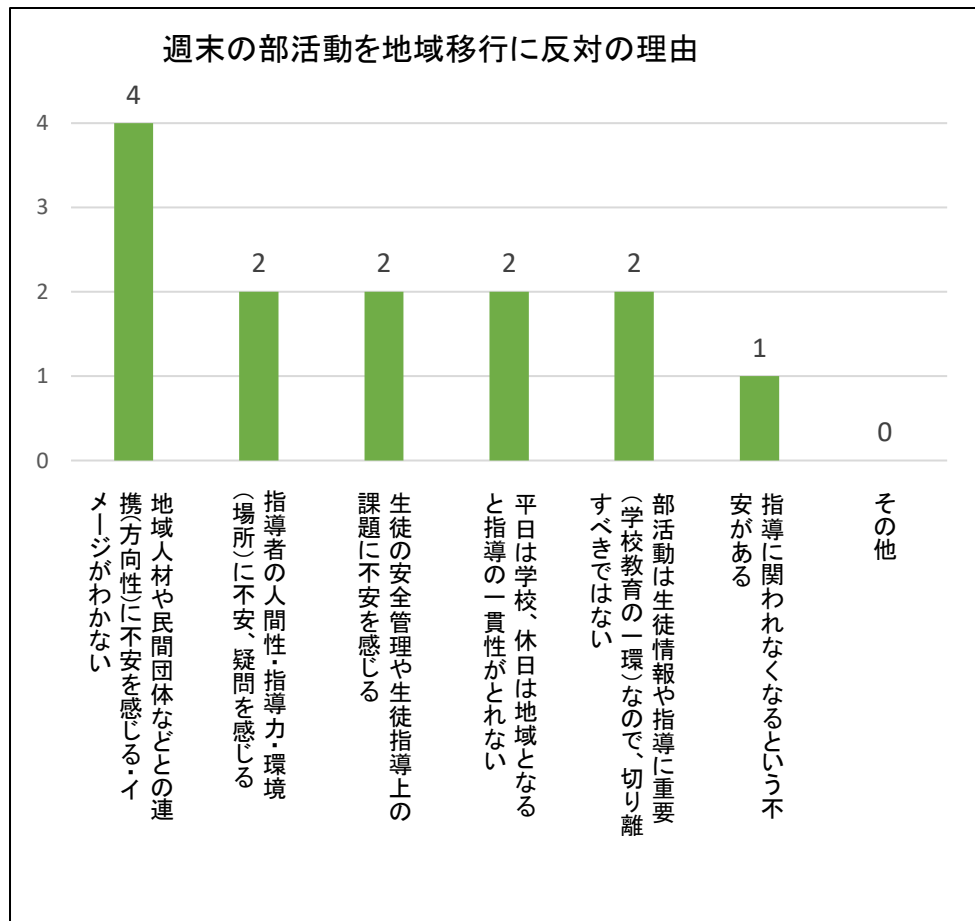


Q3 Q2の質問に賛成の理由(複数回答あり)



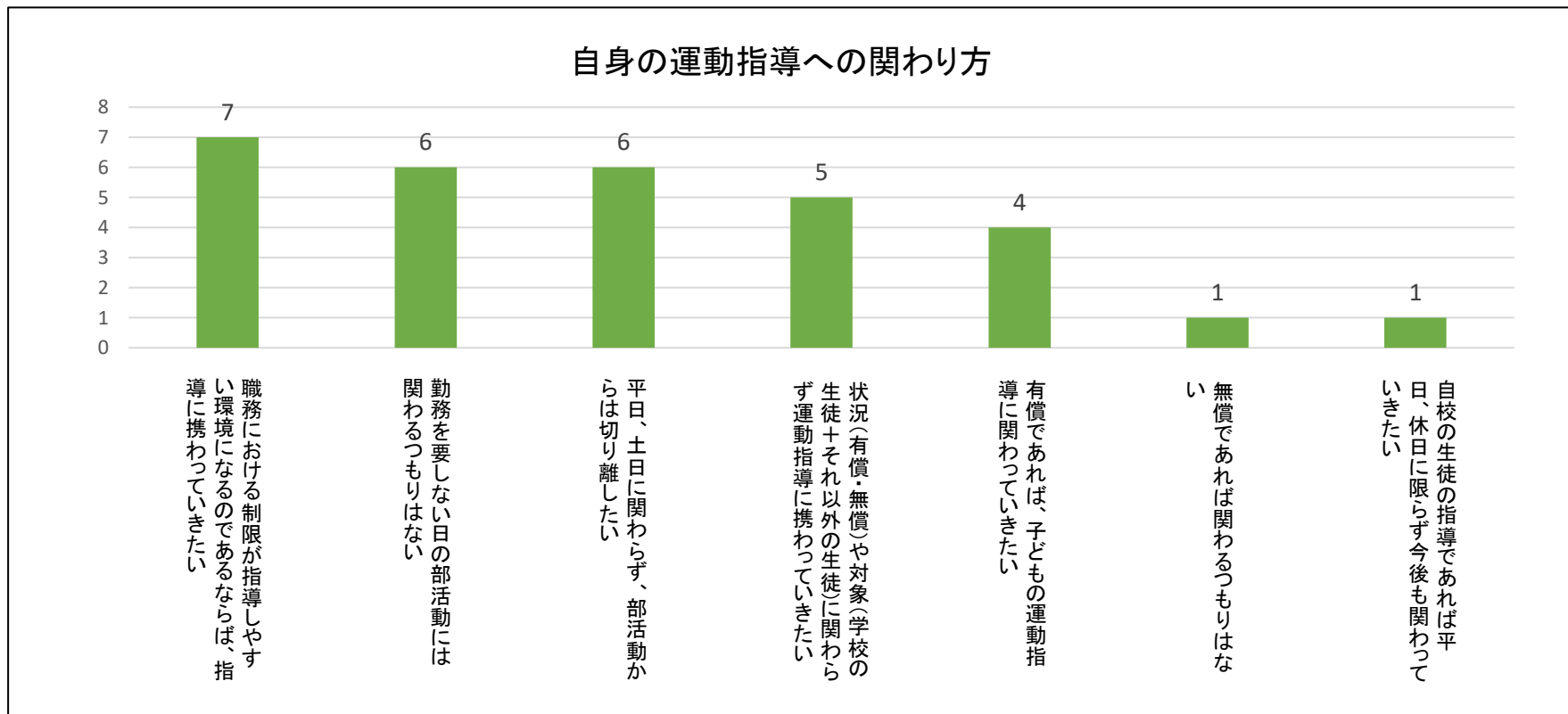
その他
 ・ 学校の都合で子どもたちがプレーする機会がなくなる可能性があるため（会場など）

Q4 Q2の質問に反対の理由(複数回答あり)

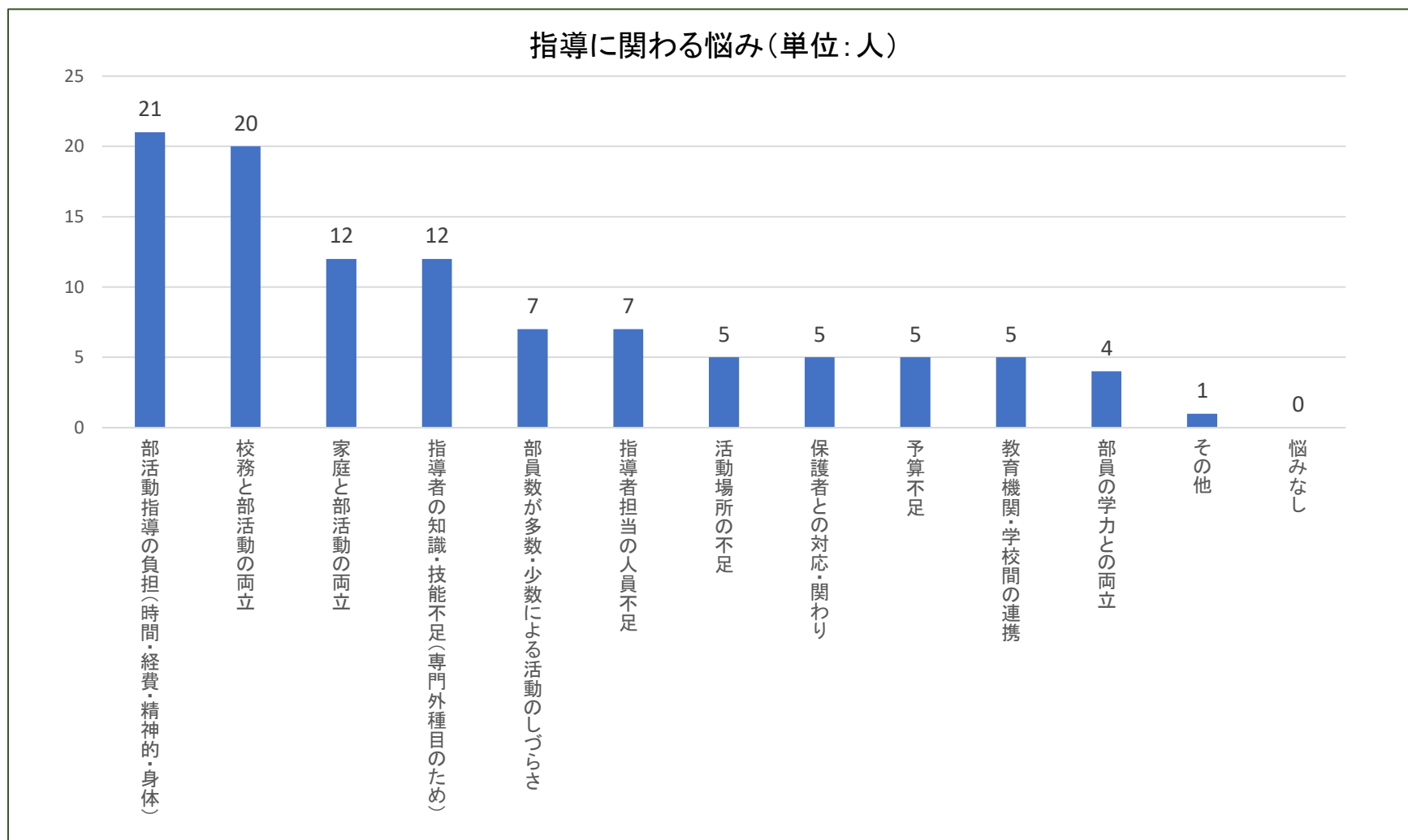


意見
 ・指導者間での連携がしっかりとれていれば、生徒への対応に違いはないと思うので、その辺が徹底されていけるのであれば、反対ではありません。

Q5 休日の部活動が民間移行の動きの中で、自身の運動指導への関わり方について(意見に近いものを一つ選択)



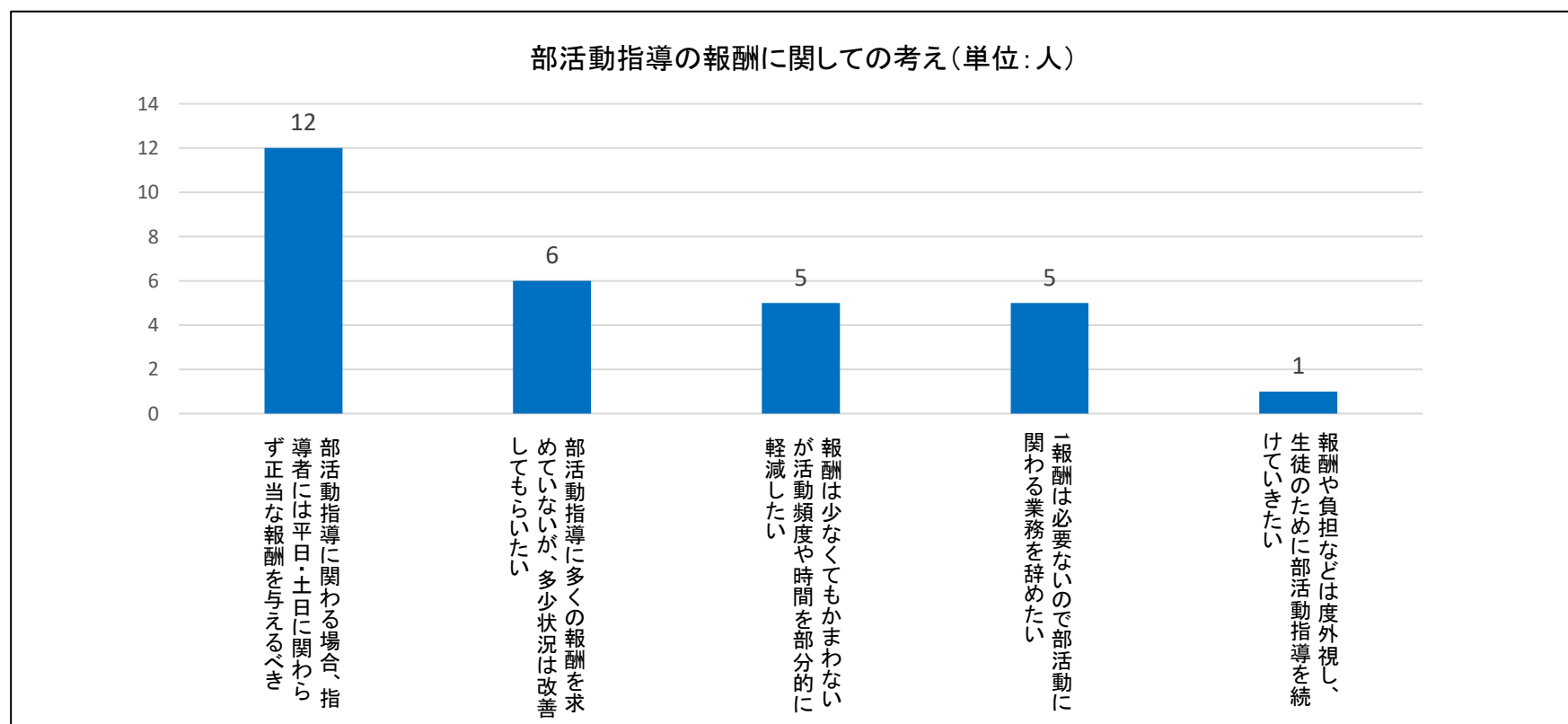
Q6 指導に関わる悩み(複数回答あり)



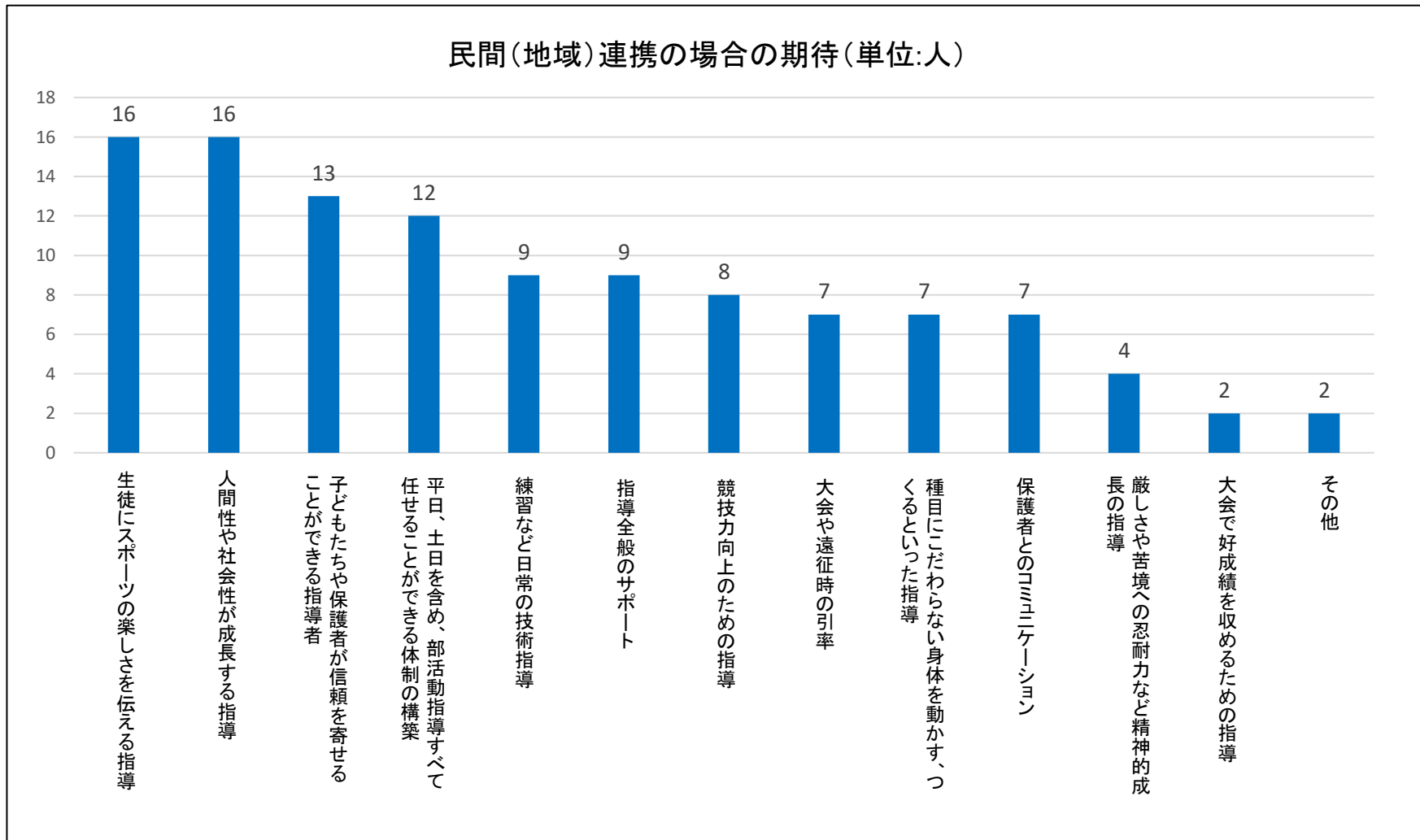
Q6 その他

・大会の引率や会計業務が大きな負担です。

Q7 部活動指導の報酬に関してあなたの考え(近いものを一つ選択)



Q8 民間(地域)と連携することになった場合の期待(複数回答あり)



Q8 その他

- ・生徒指導を重点的にやることを第一に。スポーツを通じた人間教育がないのはやる意味はないと思う。部活動のかわりではなく勝ちにこだわるチーム方針だと子どもの成長がみられず、課題ばかり増えそう。
- ・学校教育・学力への理解

Q9 休日の部活動の地域移行にあたり、どういう思いで地域に移行したいか、など現場を知る先生として、日頃子どもたちと触れ合っている立場から、率直な思いをお書きください。

- ・ただ勝敗のみにこだわるのではなく、仲間と一緒にやる楽しさや目標に向かって達成感が得られる部活動
- ・部活動指導は生き方指導だと考えるので勝利至上主義とならず一人ひとりの人間的な成長ができる部活動であるべきだと考えます。なのでそういう面を伸ばしてあげられる外部コーチ、地域移行を目指すべき。
- ・子どもたちが選んだスポーツの技術などをわかりやすく教えてくれる地域の指導者が中心に部活動を行っていくのが一番よいと思います。
- ・専門的に指導できる指導者を求めたい
- ・段階的に移行していけると思います。地域や保護者への説明も丁寧に行ってほしいです。
- ・平日と休日で指導者が変わる場合、指導方針のちがいが子どもたちに与える影響がどうなるか気になります。
- ・楽しく体をうごかす、体を作る、人間性や社会性を大切に育てようという思いを地域の方々と共通理解を図っていくことが大切と考えるが、難しそう。
- ・子どもはうまくなりたい、強くなりたいと思っているので、もし自分がメインの顧問になったら、保護者の思いも含めすべて望み通りに活動することはできないと思う。そこで信頼関係を崩す可能性があるのなら地域の専門家に指導してもらえるとありがたい。
- ・教員の負担の軽減、それによって日頃の教育活動が充実していくのであれば、地域移行すべきだと思います。一方で地域に部活動を委ねることについて、生徒や保護者の不安があるのも事実だと思います。学校と地域が円滑に連携していけるのかも気になります。
- ・休日だけの地域移行では指導者の一貫性がとれない。ゆくゆくは平日、土日を含め地域に移行することを目標に進めていくべき。
- ・部活だとモチベーションや技術、体力のレベルにかなり差があることが多くそのギャップを考慮した指導が難しく感じております。地域移行に伴って、ある程度同じモチベーション、レベルの子たちで競技できると最高だなと思っています。
- ・過渡期は週末と平日で指導者が分かれてしまうのは仕方ないが、全ての子ども達にとって活動が楽しいものであってほしいと思います。
- ・専門性のない教員に指導してもらうのは生徒の学びが満足にならない。
- ・留萌の場合、生徒の人口が少ないため、多くの人に関わりながら競技人口をふやしていくようにした方がよい。また、地域の人とともにスポーツをする機会をふやした方がよいと思う。
- ・子どもたちにいろいろな経験をさせ人間性や社会性を育てるという視点で指導にあたっているの、地域移行後もそういう視点を大切にしてほしい。そう考えると教員が引き続きやることの方が早いかもしれないが、部活があるかぎり、働き方改革は進まない。悩みどころです....
- ・技術面の指導は特に期待したいです。専門性があるわけではないので（私自身が）、技術面の指導に、現状では限界を感じる人が多いです。ただ、全てを任せきりにするわけにはいかないの、うまく連携をとって、顧問の先生が全くつかないことがないようにしなければいけないと思っています。
- ・子どもたちが自分の好きなスポーツに没頭できる環境は子どもたちにとって良いことだと思いますが、好きなことをやるためにやるべきことをちゃんとやる！（＝勉強）も大切なことなのでそういう人間教育を指導する部活動でないといけないと思います。
- ・競技力の向上を図る為にも、経験の力が必要な場合もあると思います。
- ・教員にとって、部活指導は生徒指導の意味合いを強くもっていると思うが、地域移行すると、勝敗に対しての考え方を強く意識するような気がする。休日のみ地域移行になったときに、どの程度、その方向性の違いを統一していけるかが重要になってくると思う。指導の方向性の中心をどこにするのか、子どもたちがどこを見たら良いのかわからなくならないようにしてあげたいという気持ちはある。
- ・負担が大きすぎる。時間、体力、気力、金...「働くことである」としてくれるならやるが、ボランティアの程度を超えている。
- ・子どもがスポーツに集中できる環境を整えてほしいと思います。勝利至上主義に片寄ることのないようにしてほしいと願っています。
- ・早期に平日を含めた地域移行を望みます。教職員の業務縮減。
- ・学校と地域が連携しないと放課後活動に制限がかかるかもしれないし、活動時間や内容によっては、学校生活によっては、学校生活に支障が出るかもしれないと考える。もちろん、教員の負担軽減や他の仕事の充実が図れるのはありがたいが、子どもたちの健やかな成長が一番です。